

国内未承認ワクチンを接種される方へ

狂犬病ワクチン (Verorab® ; Sanofi-Pasteur 社製)

狂犬病は、犬、コウモリ、キツネ、スカンク、マングースなど哺乳類の動物から感染する病気です。全世界で年間約 55,000人の狂犬病患者が発生しますが、ほぼ100%死亡します。潜伏期間は通常1-3ヶ月ですが、1年以上たってから発症する場合があります。流行国への渡航前に予防接種を受けることが推奨されますが、この数年来の需要量の増大により、全国各地で供給量が不足しています。そのため当院では海外で使用されている狂犬病ワクチンを導入することにしました。Verorab® (精製Vero細胞ワクチン) は海外で全年齢において接種されているワクチンであり、3回の規定通りの接種により約2年間の予防効果が見込まれます (規定通り3回接種のあと1年後に追加接種を行った場合は、以後5年毎の追加接種になります)。国産ワクチンは半年から1年かけて3回接種しますが、本ワクチンは3週間ないしは4週間で3回の接種が完了します (初日、1週間後、3週間後または4週間後の接種)。接種方法は 0.5 mlを筋肉注射します。起こり得る副反応は下記のような症状です。

- (1) 接種部位の軽微な反応：痛み、紅斑、浮腫 (むくみ)、かゆみ、硬結 (かたい部分)
- (2) 全身反応：中等度の発熱、戦慄 (ふるえ)、失神、無力症、頭痛、めまい、関節痛、筋肉痛、胃腸障害 (吐き気、腹痛)
- (3) まれな反応：アナフィラキシー反応、蕁麻疹、発疹

輸入ワクチン副作用被害救済補償制度

日本国内で承認されているワクチンは予防接種法、施行令によって健康被害に対する救済制度が確立していますが、日本国内未承認ワクチンについてはその救済制度は対象外となります。そのため、国内未承認ワクチンの副作用に関する救済補償制度は、当院がワクチンの輸入を依頼している代行業者による独自の補償制度に従うこととなります。